

## 研修 No. 6

### 問題解決的な学習の工夫

■ねらい

道徳の時間における問題解決的な学習の在り方を理解する。

■時 間

60分

■配付資料

- (1) 「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」第4章第3節の5 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導
- (2) 読み物教材等  
(例) 小：「知らない間の出来事」（私たちの道徳 小学校5・6年P76～79）  
中：「二通の手紙」（私たちの道徳 中学校P140～145）
- (3) 問題解決的な学習の授業構想シート【研修シートNo.4】

※読み物教材、研修シートは事前に配付し、各自、内容を確認しておく。

■展開

時間	内 容
1 2分	<p><b>1 研修のねらい等を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 道徳教育推進教師等が、研修のねらいや進め方を説明する。</li></ul>
2 10分	<p><b>2 道徳の時間における問題解決的な学習の意義等を理解する。</b></p> <p>[上記の配付資料(1)を配付]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 道徳教育推進教師等が、配付資料(1)「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を活用するなどして、問題解決的な学習の意義等を説明する。</li></ul> <p><b>【説明（例）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・問題解決的な学習とは、（小）実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の考え方や感じ方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うことである。（中）生徒一人一人が生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習である。</li><li>・問題解決的な学習では、教師と児童生徒、児童生徒相互の話合いが十分に行われることが大切であり、教師の発問の仕方の工夫などが重要である。さらに、話合いで学習形態を工夫することもでき、一斉による学習だけでなく、ペアや少人数グループなどでの学習も有効である。</li></ul> <p>[小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編]</p>
45分	<p><b>3 発問と学習形態の工夫の在り方を協議する。</b> [上記の配付資料(2)、(3)を配付]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 道徳教育推進教師等が、次の手順や内容等で進める。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>① 全体で協議の柱を確認する。<p><b>【協議の柱（例）】</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・ねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるようにするため、発問や学習形態をどのように工夫すべきか。</li></ul></li><li>② 個人で配付資料(2)「読み物教材等」を読み、ねらいとする道徳的価値の多面的・多角的な思考を促す発問や効果的な学習形態を考え、配付資料(3)「問題解決的な学習の授業構想シート」に記入する。<p><b>【読み物教材（例）】</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・小：「知らない間の出来事」（私たちの道徳 小学校5・6年P76～79）</li><li>・中：「二通の手紙」（私たちの道徳 中学校P140～145）</li></ul></li><li>③ 小グループで授業構想シートに記入したことを交流し、効果的な発問や学習形態の在り方を協議する。<p><b>【協議の視点（例）】</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・ねらいとする道徳的価値について多面的・多角的な思考を促す「問い合わせ」はどうあるべきか。</li><li>・ねらいを達成するために有効な学習形態にするためには、どのような工夫が必要か。</li></ul></li><li>④ 全体で小グループの協議内容を交流する。</li></ol>
3 3分	<p><b>4 今後の取組を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 道徳教育推進教師等が、協議内容をまとめ、今後の授業改善の方向性を確認する。</li></ul>

## 研修 No. 7

# 「私たちの道徳」の効果的な活用方法

- ねらい 「私たちの道徳」の効果的な活用方法を理解する。  
■時間 60分  
■配付資料 (1) 「『私たちの道徳』活用のための指導資料」小：P 9～29 中：P 10～31  
(2) 「私たちの道徳」の活用方法シート【研修シートNo.5】  
(3) 「私たちの道徳」

### ■展開

時間	内 容
1 2分	<p><b>1 研修のねらい等を確認する。</b></p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、研修のねらいや進め方を説明する。</p>
2 10分	<p><b>2 「私たちの道徳」の活用方法等を理解する。</b> [上記の配付資料(1)を配付]</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、配付資料(1)「『私たちの道徳』活用のための指導資料」を活用するなどして、「私たちの道徳」の活用方法等を説明する。</p> <p><b>【説明（例）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道徳の時間での活用では、読み物資料やコラム、先人の格言などを活用して道徳的価値についての考えを深めたり、書き込み欄を活用して自分自身のことを振り返ったりすることができます。</li><li>・各教科等においては、その目標や内容に応じて「私たちの道徳」の関連するページを活用し、児童生徒の道徳性を育成することができる。</li><li>・「私たちの道徳」には、家庭や地域で話し合ったことを書き込んだり、家の人が書き込んだりする欄が多く設けられており、家庭や地域で広く活用できる。</li></ul> <p>[「私たちの道徳」活用のための指導資料]</p>
45分	<p><b>3 「私たちの道徳」の効果的な活用方法を協議する。</b> [上記の配付資料(2)、(3)を配付]</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、次の手順や内容等で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 全体で協議の柱を確認する。</li></ol> <p><b>【協議の柱（例）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「私たちの道徳」を活用した実践の成果と課題を踏まえ、今後の活用方法をどのように工夫すべきか。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>② 個人で配付資料(2)「『私たちの道徳』の活用方法シート」に、実践概要や成果、課題を記入する。</li><li>③ 小グループで記入した内容を交流し、一層効果的な活用方法を協議する。</li></ol> <p><b>【協議の視点（例）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・効果的な活用に向けた課題と改善点は何か。</li><li>・効果的な活用に向けて今後も継続して取り組むことは何か。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>④ 全体で小グループの協議内容を交流する。</li></ol>
3 3分	<p><b>4 今後の取組を確認する。</b></p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、各グループから出された意見を踏まえ、後日行う校内の道徳教育推進委員会等で「私たちの道徳」の活用の方針等を検討することを確認する。</p>

# 【研修シート No. 1】道徳教育の全体計画のチェックシート

道徳教育の全体計画は、特に次の点において重要な意義をもちます。

- ① 豊かな人格形成の場として、各学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる。
- ② 学校における道徳教育の重点目標を明確にして取り組むことができる。
- ③ 道徳教育の要として、道徳の時間の位置付けや役割が明確になる。
- ④ 全教師による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できる。
- ⑤ 家庭や地域社会との連携を深め、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を可能にする。

## 《道徳教育の全体計画例（中学校）》

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○市町村教育委員会の教育目標

学校の教育目標
○優しく思いやる子
○深く考える子
○たくましく鍛える子
○誇り高くやり遂げる子

○学校や地域の実態と課題
・小規模校であり、人間関係は良好だが交友関係が固定化している。
○生徒の実態や発達課題
・自分の想いを伝えたり、友だちの想いを受け止めたりするなど、人間関係を築く力が弱い。
○教職員や地域・保護者の願い
・生徒自ら考え、行動し、いじめのない学校にしたい。

### 3 各教科

○国語科
・互いの立場や考え方を尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
・国語を尊重する態度を育てる。
○社会科
・我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。
・自由・権利と責任・義務などの公民的資質の基礎を養う。
○数学科
・数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
・数学を活用して、考えたり判断したりしようとする態度を育てる。
○理科
・自然と人間とのかかわりを認識させる。
○音楽科
・音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を育てる。
○美術科
・創造する喜びを味わわせる。
○保健体育科
・粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力するといった態度を養う。
○技術・家庭科
・生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させる。
・進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てる。
○外国語科
・外国語を通じて我が国や外国の文化に対する理解を深める。

1 道徳教育の重点目標
○相手を思いやる気持ちを大切にし、互いに協力し合いながら、生活できる生徒を育てる。
○生命を尊重し、自然環境や社会福祉に目を向け、これらを大切にする生徒を育てる。
○公徳のモラルを大切にし、より望ましい社会の実現について考え、正しい判断で主体的に行動できる生徒を育てる。

3 特別活動
(学級活動)
○学級の一員としての自覚をもって行動しようとする態度を育てる。
○生徒の自主性を大切にして、学校生活における諸課題の解決を図ることにより、協力性や思いやりの心を育てる。
○自己の安全を確保するとともに、身の回りの人々の安全を確保する。
○主体的に自分の進路を選択する能力を育てる。(生徒会活動)
○学校の一員としての自覚をもち、自己的役割や責任を果たそうとする態度を育てる。(学校行事)
○各行事(体育大会や学校祭)に主体的に参加し、協力性や責任感、自他を尊重する心を育成する。

1 各学年の道徳教育の重点目標
1年
○相手を思いやる気持ちを養う。
○物事に積極的に参加する態度を養う。
○自然と親しむ態度を養う。
2年
○自他の生命を大切にする態度を養う。
○生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。
○責任をもつてやりぬく態度を養う。
3年
○社会の秩序や規律を高める態度を養う。
○自ら進んで奉仕する態度を養う。
○いたわり励まし合う人間愛の精神を養う。

2 道徳の時間の指導方針
○法をきまりに目を向ける活動や人生観を学んだり、自分のテーマをもって考え討論したりする活動など、道徳的価値に裏打ちされた人間としての生き方について自覚を深める指導を行う。
○書く活動や語り合う活動など自己の心情・判断等を表現する機会を充実し、自らの道徳的な成長を実感せるとともに、学級や学校の一員としての道徳的実践力を育てる。
○ネットいじめに対応するため、情報モラルについての指導を行う。
○栽培活動や職業体験活動、ボランティア活動など、特別活動や総合的な学習の時間における体験活動や実践活動を通して、生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る。

3 総合的な学習の時間
○自然体験、ボランティア活動などの社会体験を通して自らの課題に積極的に取り組む態度を養う。
○遊び合いや練り合いを大切にして、望ましい人間関係を築く体験の充実を図る。

5 生徒指導
○生徒が自動的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができる自己指導能力を育成する生徒指導を充実する。
○人権尊重の精神のもと、自他の命を大切にし、節度ある生活態度を育てる。
○社会性を育て、規範意識をもった生徒を育てる。
○生徒相互、生徒と教師の心の交流を図り、心の通った生徒指導を推進する。

4 特色ある教育活動や豊かな体験活動
○緑と花にあふれ、潤いのある学校づくりを進めること。
○職場体験活動等、職業に対する理解を深めるとともに、自然環境や社会性の必要性に気付く態度を養う。
○地域の行事に参加したり、地域と連携を図った行事を体験したりすることにより社会の一員としての自覚を育む。

5 学級・学校の環境の充実・整備
○飼育活動や栽培活動を推進し、生命尊重の態度を養う。
○地域の人々や先達などが残した伝統と文化について掲示や作品展示を行い、郷土愛や地域社会の一員としての自覚を深める。
○目標やきまりの掲示を工夫することにより、ルールについて理解し、実践する態度を養う。

6 家庭・地域社会との連携
○「私たちの道徳」の活用の推進と道徳の授業公開の充実により、学校・家庭・地域で連携した道徳教育を推進する。
○保護者会や学校便り等を通して、学校の道徳教育の取組について、家庭や地域との日常的な共通理解を図る。

7 道徳教育の推進体制
○校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心とした道徳教育推進委員会を組織し、道徳の時間の指導、各教科等における道徳教育、家庭や地域との連携に基づく道徳教育などを機能的に推進する。

全体計画に示すことが望まれる以下の事項を確認しましょう!!

1 □学校の教育目標、道徳教育の重点目標、各学年の重点目標

2 □道徳の時間の指導方針

年間指導計画を作成する際の観点や重点目標に関わる内容の指導の工夫、校長や教頭等の参加、他の教師との協力的な指導の方針を示す。

3 □各教科等における道徳教育の指導の方針、内容及び時期

重点内容項目との関連や各教科等の指導の方針を示す。また、各教科等の方針に基づいて進める道徳性の育成に関する指導の内容及び時期を別葉に整理して示す。

4 □特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連

(小) 学校や地域の特色を生かした取組や集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験活動などの体験活動や実践活動における道徳性を養うための方針を示す。

(中) 学校や地域の特色を生かした取組や生徒指導と関連、職場体験活動、ボランティア活動、自然体験活動など生徒の内面に根ざした道徳性を養うための方針を示す。

5 □学級、学校の人間関係、環境の整備や生活全般における指導の方針

日常的な学級経営を充実させたための指導の方針を示す。

6 □家庭、地域社会、他の学校や関係機関との連携の方法

協力体制や道徳の授業公開、広報活動、保護者や地域の人々の参加や協力に関する方法を示す。

7 □道徳教育の推進体制

道徳教育推進教師の位置付けも含めた全教師による協力体制を示す。

□その他

次年度の計画に生かすための評価の記入欄、研修計画や重点的指導に関する添付資料等

## 【研修シート No. 2】道徳教育の全体計画の別葉の作成構想シート

道徳教育の 重 点 目 標		(例) 小学校第2学年											
内容項目等		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動
(例) B10 道徳教育に 関わる内容 (時期)	作文を読ん で友達と感想 を伝え合う。 (10月)	遊びを工夫 して友達と一緒に声を合わせて遊ぶ。 (2月)	遊びを工夫 して友達と一緒に声を広げて歌う。 (6月)	友達と一緒に想像 しながら遊ぶ。 (10月)	友達と一緒に活動 して長縄跳びをする。 (10月)	友達と協力 して長縄跳びをする。 (6月)	友達と仲よく遊ぶ。 (6月)	「ともだちとな かよく」P77	「ともだちとな かよく」P77	「ともだちとな かよく」P77	「ともだちとな かよく」P75	「ともだちとな かよく」P74	「ともだちとな かよく」P75
友情、 信頼 (「私たちの 道徳」の活 用)													